

事業報告書

シオン園保育所

はじめに （2015年度の概況）

「子ども・子育て支援新制度」導入時の混乱が続き、様々な事務処理が遅れ、あわただしく過ぎたように感じる一年だった。その中で、熊本県福祉サービス第三者評価を受審し、業務マニュアルの整備や保育所運営の中にマネジメントの要素を取り入れること、理念や保育方針の浸透、組織的な人事管理、保護者支援等について、職員一同多くの学びを得た。また、政府の方針として打ち出された保育士の処遇改善について様々な論議がなされ、保育士の役割の重要性や責任、過大な労働量について世間の注目が集まったことも、保育の現場を理解してもらうために有効であったように思う。地域差はあるものの全国的な課題となっている待機児童については、市との協議の上で120パーセントの弾力運営が認められ、150人の定員に対して174名（3月現在）の子どもたちが入所したが、荒尾市は今年更に50名の定員増を行った。荒尾市の人口の増加が横ばいで、幼稚園が認定こども園に移行していることを考えると、将来的には保育の供給量は必要量を上回るように思われる。そのような中で、些細な問題はあったがこの一年、子どもたちが楽しく元気に成長して進級し、無事に卒園児を送り出し、職員一同キリスト教保育の実践に努め、保育を深めることができたことを感謝している。

- | | |
|--------|-------------------------|
| 1. 施設名 | シオン園保育所 |
| 2. 種別 | 保育所 |
| 3. 定員 | 150名 |
| 4. 園長名 | 福田 順子 |
| 5. 職員 | 35名（常勤16名、非常勤13名、パート6名） |

6. 措置児在籍数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	10	11	14	15	16	19	20	20	22	23	23	23	216
1歳児	27	29	29	29	29	29	28	28	28	28	28	28	340
2歳児	32	33	33	33	33	32	31	31	31	31	30	29	379
3歳児	27	29	29	29	29	29	29	29	28	28	28	29	343
4歳児	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	337
5歳児	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	403
合計	159	164	167	168	169	171	170	169	170	171	170	170	2018

7. 事業内容

(1) 保育の必要な乳幼児の保育

各クラスにおいて年齢に応じたさまざまなプログラムにより保育し、子どもたちの成長を促すことができた。新規採用職員が無かったため、職員集団としては落ち着いており、どのクラスもチームワーク良く保育にあたることができた。0歳児の入所が後半に多くなり、前半は特にゆっくりと保育できたように感じる。広い0歳児の保育室を「すやすや」「はいはい」「よちよち」の3グループに区切って保育したことも、乳児の落ち着きにつながったようだ。特別な支援の必要な子どもについては、5歳児4名、3歳児1名、1歳児1名が障がい児保育としての補助金を受けた。グレーゾーンの1歳児1名については、保護者・心理士・担任保育士・園長で心理相談を行い、発達小児科の受診を予約された。保育方針として「一人一人を大切に保育」を心に刻み、一人ひとりとしていねいに関わり、きめ細やかな保育を心掛けた。

(2) キリスト教保育

保育の中で毎日礼拝し、食事やおやつの前に感謝のお祈りをした。木下牧師の司式で週に1回4、5歳児で合同礼拝を行い、聖話は園長・職員が交代で受け持った。合同礼拝でパウラス先生の生涯や教えについて話し、創立者を覚える機会を持った。3歳以下のクラスは各保育室で木下牧師によるお祈りがあり、それぞれに落ち着いて礼拝することができた。

(3) 保育内容

環境保育について、ほとんどの職員が研修を受け、保育室を子どもたちの遊びがスムーズに流れるように設定し、自由遊びの時間に落ち着いてよく遊ぶようになった。遊具は適時交換したり入れ替えたりしながら、子どもの興味や関心が持続するように工夫した。また、今年度は各クラスの保育計画の様式を変え、内容も見直した。担当クラスのカリキュラムを読み合わせし作りなおすことで、理解も深まった。実践については経験により難しい点もあるが、それぞれの場所でプロとしての対応ができるように、先輩保育士からの指導が行われ、新人保育士(2年目)の成長が感じられた。

(4) 健康管理・衛生管理

保健衛生マニュアルについて、今年度全面的に見直しをし、マニュアル検討委員会で話し合い、職員の共通理解を図った。

園児に対しては、次のような健診等を行い、園児の保健衛生指導に当たるとともに、結果は保護者に連絡し、健康管理に努めた。感染性の病気については、玄関のホワイトボードに書いて掲示し、最新の情報を伝えるとともに、予防や初期発見、診察について言葉掛けした。また、毎日のうがいや手洗い、手指の消毒、着替え、汗拭き等清潔に関する習慣づけを行った。

感染性の病気について、完全に快復していないのに登園する場合や、法規定の日数をお休みしない場合もあり、荒尾市の園長会に提案し、医師会の協力で登園許可の指示書を提出して頂くように運動した。平成 28 年度には荒尾市の保育園全体でその仕組みが機能するようになる予定である。

内科健診	入所時 6月 11月 (欠席者は後日病院で受診) * 結果を保護者に通知	くどう小児科クリニック 工藤 弘志 先生
歯科健診	6月 3月 (欠席者、途中入園児は3月に) * 結果を保護者に通知	蔵本歯科医院 蔵本 千恵子 先生
ぎょう虫検査	6月 * 結果を家庭に通知 … 1名の保菌者、駆除終了	
身体検査	毎月身長体重を測定 (6, 9, 1月は胸囲も測定、0歳児は頭囲も測定) * 結果を保護者に通知(連絡帳、発育の記録にて)	
その他	職員、年1回健康診断、40歳以上は半日人間ドック 腸内細菌検査 (調理関係者は毎月、その他の職員は年2回) ノロウィルス、O-157細菌検査…調理関係者	

○感染症対策に使い捨ておしぼりを使用。3歳未満児はペーパータオルを使用。

○フッ化物洗口…保護者からの同意書をいただき、4,5歳児が食後の歯磨きの後に実施。

(5) 安全管理・危機管理

保育の中で避難訓練や交通安全指導を行い、安全や危険回避への意識を持たせるように心掛けたが、今年度は天候により思わぬ対応を迫られる事態があった。

- 8月24日、台風15号の接近により、15日の登園時間に最も影響があるということで、園児の安全を一番に考え、荒尾市子育て支援課から登園自粛の指示があり、保護者にお願いをした。当日職員は自宅待機とし、園長他2名が出勤した。台風の進路がそれて、被害も無く、午後から出勤して台風後の片付けを行った。
- 1月25日、大雪が降り珍しく積雪した。園児は遅れて登園する子が多く、半分くらいの出席であった。遠方の職員や交通事情の悪い職員はお休みを取った。駐車場への坂道でスリップし立ち往生した車もあったが、被害も怪我も無く安堵した。

1月の大雪の日は月曜日で、園としての対応が遅れたが、8月の台風の時は市の保育協議会の電話連絡で相談、子育て支援課と協議し、早めに登園自粛の対応ができた。まずは子どもたちの安全を一番に考え、保護者とも日頃から話し合っておくことが大切だと感じた。

<p>災害安全</p> <p>避難訓練</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震等を想定し、月1回以上実施。(全園児・全職員) 職員は通報・放送・初期消火・避難誘導・重要書類持ち出し等の各係を交代で訓練実施。 ・不審者対応等は特に職員の受け持ちと共通理解のために、しっかりと話し合った。 ・消化訓練は、水消火器を使用し、全職員が交代で行い、使用法を理解できるようにした。 ・消防訓練は、荒尾消防署より3名の消防署員が消防車で来園され、避難訓練の様子を確認し、子どもたちにビデオ等を使用して火災や避難訓練について説明して下さった。 ・感謝訪問で有明消防車を年長児が訪問し、消防署を見学。当日急にペリコプターで搬送されると連絡が入り、その様子を見学させてもらった。めったに無い機会です、子どもたちも興味津々の様子だった。
<p>交通安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上は、紙芝居や絵本等を視聴し、交通安全のお約束等を確認した。 ・お散歩や遠足の機会をとらえ、実際の道路や横断歩道で道路の横断や飛び出し防止等について指導した。 ・保育園の駐車場については、入園式や説明会で説明し、お手紙等でも随時呼び掛けているが、車道を通ったりおしゃべりをしたり、保護者の意識の無さを感じた。今後の対策を考えているところである。
<p>安全点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検表に基づき、月に2回、保育室・園庭・遊具・玩具等・給食室・給食設備・駐車場などを点検した。 ・雨の後は特に注意して園舎周りののり面や裏庭等を見回り、土砂の流出や水が出ているところは無いかなどを点検した。 ・園庭遊具の老朽化や破損、中央段差の土砂の流出は特に注意して点検し、フェンスを整備する等の対応をした。 ・点検では玄関前の階段の手すりのねじのゆるみ等によるぐらつきがよく報告された。その度ねじを締める等の対応をした。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度全面的なマニュアルの見直しをしたことで、火災や災害時の対応について職員全体で考え、話し合うことができた。第三者評価で関係機関との適切な連携について、小学校や緊急時の対応先、支援の必要な園児の相談先など機能別にリストアップした住所録作成の支持があり、すぐに「関係機関連携リスト」としてまとめた。

(6) 食育・給食

今年度も子どもたちの健康と健全な心身の成長を願って、衛生状態に十分な注意を払い、栄養豊かな美味しい給食の提供に努めた。また、子どもたちの食への興味や関心を持たせるために、次のような食育活動を行った。

	子どもたちの食育活動	「郷土料理の日」献立	
4月	・イースターたまごのラッピング		
5月	・とうもろこしやグリーンピースの皮むき		
6月	・芋の苗植え ・夏野菜の栽培と収穫	熊本	高菜チャーハン、ざぜん豆 難関揚げ入り味噌汁
7月	・梅の実の収穫、ジュース作り ・お米とぎの当番活動	長崎	パリパリ皿うどん、カミカミサラダ フルーツ杏仁
8月	・サマーナイトチャレンジの夕食づくり	佐賀	魚ロッケ、きのこの味噌汁
9月	(カレー、サラダ、デザート)	福岡	がめ煮、豆腐の味噌汁
10月	・感謝祭 けんちん汁、おにぎり作り	大分	とり天、具沢山だご汁
11月	・芋掘り ・柿や栗の収穫	宮崎	チキン南蛮、南瓜の味噌汁、 マンゴー入り杏仁豆腐
12月	・クリスマスプレゼントのクッキー作り	熊本	つぼん汁、カミカミサラダ、りんご
1月	・餅つき		
2月	・お楽しみパーティー (お好み焼きパーティー)	鹿児島	さつま揚げ、大根の味噌汁
3月	・給食の先生とのお別れクレープ作り	北海道	鮭のちゃんちゃん焼き、 あったかソーメン汁

その他、毎月の誕生会はその月の誕生会担当の保育士が献立を考え、給食担当者と話し合って盛り付けのレイアウトを決め、美味しく楽しいものを提供した。参加された保護者からも「手の込んだものを…」と、好評だった。七夕やこどもの日、節分、ひな祭り等各行事に合わせた献立も型抜きやケチャップで絵を描いたりして子どもたちが喜ぶように考えてあり、アレルギーや離乳食についても保育士や保護者と情報交換しながら献立決定している。また、今年度より給食サンプルを玄関ホールに展示し、お迎えの時など保護者と一緒に見ながら「美味しかった」と会話が弾んでいるようだ。

天候不順やその他で食材の価格高騰があり、給食費のやりくりにも苦慮した。お米や特産品の梨など地元食材を取り入れ、仕入先や原産地にも注意をした。困難なところもあるが、給食を喜んで食べる子どもたちの笑顔に力をもらった。

(7) 保護者支援

保護者に対して保育園の『見える化』を進めるために、家庭通信（園のたより、クラスだより、保健だより等）、掲示板（玄関のホワイトボード、各保育室掲示板、玄関ホールモニターなど）の情報提示の方法を工夫し、楽しく分かり易くした。また、知りたい情報（感染症の罹患状況、行事連絡、台風等の影響等）をなるべくリアルタイムで伝えられるようにした。

保護者とは送迎の際に必ず声をかけ、入所児の様子を伝え、成長の喜びを共有できるように努めた。保護者からの相談にも応じているが、事務室がどこからも見えるため、落ち着いて話せる場所が無いことが今後の課題である。また、保護者会役員や保護者が集まって活動できる保護者支援のスペースがあればと感じる。

(8) 地域・関係機関との連携

三中校区保幼小中連携推進協議会では、年1回の総会及び研修会、懇親会で、保育園から中学校までの先生たちが顔を合せて話し合える場となっている。また、同区園長校長会が年間4回開催され、「早寝早起き朝ご飯」と「メディアコントロール」の取組を行った。7園3小1中学校が同じ取組を行うことで保護者の啓発を促し、各施設の情報交換を行い、スムーズな連携を行うことができた。

その他、老人ホーム緑風園に行きお年寄りと交流したり、近隣の消防署、郵便局、工場に感謝訪問に行ったり、中央小2年生の児童と園児との交流会が行われ、地域や関係機関との連携を深めた。また、元気っ子祭りや運動会に卒園児を招待し、地域の方々もともに楽しい時間を過ごせた。

実習生受入状況

6月10日～19日	荒尾支援学校 高校2年 1名
6月15日～19日	有明高校看護科 2年生 3名
6月22日～26日	有明高校看護科 2年生 3名
7月21日～31日	誠修高等学校 保育科幼児教育進学コース 3年生 1名
8月10日～24日	香蘭女子短期大学 保育学科 2年生 1名
8月17日～29日	九州大谷短期大学 幼児教育学科 2年生 1名
9月8日～10日	海陽中職場体験学習 2年生 5名
2月15日～26日	久留米信愛女学院短期大学 幼児教育学科 一年生 1名

8. 苦情解決

社会福祉法第82条により次のように「苦情申し出窓口」を設置し、利用者からの苦情に適切に対応できるように努めた。

シオン園保育所 苦情解決体制

苦情解決責任者	福田 順子	シオン園保育所 園長
苦情解決担当者	細江 貴代美 関 弓子 井上 那奈	シオン園保育所 主任保育士 シオン園保育所 保育士 〃
苦情解決第三者委員	永尾 則行 宇野 美智子 宮丸 真介	荒尾市立中央小学校 校長 荒尾市民生委員児童委員 荒玉地区更生保護センター長

2015年度は次のような苦情に対応した。

①玄関前階段下の鉄製門扉について

登降園時門扉が開けたままになっているので、子どもが飛び出したり、逃げ出したりして危険。

②朝9時以降、夕方6時以降に閉じればよいのではないか。

子どもは親の責任において登園させるべき。

③保護者用駐車場が混雑しているのに、保護者同士でおしゃべりしている。

④駐車場でアイドリング駐車をしており、子どもが排気口近くを通るので危険。

⑤駐車場の車道部分を通る保護者や子どもがいて、車からは死角なので危険。

⑥母親がお休みの時登園させると「早めにお迎えを」と言われ、プレッシャー。

上記の①②については、①で門扉は保護者の責任で閉めるようお願いしたところ、②の意見があった。子どもさんの年齢も在りケースバイケースだと思うが、保護者はしっかり自分の子を見てほしいと感じた。③～④は駐車場のマナーの問題で、これも保護者のモラルの低下を感じる。一つ一ついねいに話し合いながら、保護者の啓蒙に努めたい。⑥は、保育士の子どもを思っただけの言葉掛けだが、誤解を招くような言葉遣いについては使用しないように、また、子どもの様子や成長した姿を日頃から伝え、信頼関係を築くことが大切だと話し合った。

9. 職員の資質向上

(1) 園長の責務

「子ども子育て支援新制度」について、前年度より研修会や行政説明で学んでいたが、複雑で難しく、保育単価等の決定が遅く、事務処理に支障をきたした。処遇改善やキャリアパス要件の考え方については、荒尾市との話し合いや指導のもと、研修会等で学び、対応した。法人内の3保育園でも連絡会や話し合いを進め、より良い方向を模索した。

今年度は熊本県福祉サービス第三者評価を受審したこともあり、マニュアルの見直しや共通理解のための話し合いを進め、標準的な保育サービスについて意識を高め、その実践に努めた。法人や施設の理念、保育方針の職員間の共有と保護者への浸透について、

園内のモニター掲示やパンフレット作成を指示し、一応の効果があったことを感じた。施設整備については園舎と外構、一段落ついたように感じる。これからも園内外の情報をしっかり収集し取捨選択して、必要な整備の優先順位を考え計画を進めたい。

(2) 研修実施記録

今年度は以下の研修に参加し、学びの時を持った。園内研修では、保育士が講師となり、それぞれが自分のテーマとしている内容について研究したことや研修会に参加して学んだことを発表してくれ、レポートも良く作成されており、感心した。参加者が少なかったことが残念である。園内研修を日常業務の時間内に行うと参加者が限られるので、工夫が必要だと感じた。

外部の研修では、日程や行事の関係で今年も遠方の研修には参加でいなかった。合志教会・荒尾教会合同リトリートは、自分たちで作っていく研修なので、これからも参加し、愛泉保育園・清泉保育園との交流を深めたい。

今年は5歳児に気になる子が多く、その中の2名が発達障がいの診断を受けた。ケース会議や心理相談等はきめ細やかな保護者との連携と子ども理解のためのよき学びとなった。

月	日	外部研修	日	園内研修
4	18	荒尾市保育協議会総会及び講演会	27	5歳児ケース会議 心理士(洪田先生)保育士・園長3名
	22	慈愛園新任研修	30	5歳児ケース会議 療育相談員(村上先生)保育士・園長3名
5	11,12	キ保九州部会設置者・園長研修	8 26	聖書研究 マルコによる福音書16:1~18 「見ないで信じる」 参加者 7名
	12,13	県保協新任保育士研修		5歳児ケース会議
	14	県市合同女性部研修会		心理士(洪田先生)保育士・園長3名
	25	県保育協会、協議会合同研修		
	27	市保協救急法研修		
	30	キ保春季保育者研修		
6	1	県保協乳児保育研修会		
	4	メイト運動会実技研修		
	6	保育環境講座		
	16	県就学前人権同和教育研究会		
	18	県保協2歳児担当者研修		
7	2	保育施設危機管理研修会	24	聖書研究 ルカによる福音書15:1~10 「放蕩息子のたとえ」 参加者 7名
		慈愛園管理職等研修会		
	10	荒尾市教育機関連絡協議会合同研修会		
	18	環境と保育についての情報交換の集い		
	25	三中校区保幼小中連携推進協議会研修会		
	28	県保協前期食育担当者研修会		

8	12	市同教就学前主担者研修	1	「福祉サービス第三者評価の考え方について」 熊本県保育協議会保育士部会長 子羊保育園主任保育士 犬童れい子先生 参加者 32名		
	13	慈愛園管理職等研修会				
	17	人権同和問題啓発推進員研修会				
	19	幼保小中連携セミナー				
	22	市同和教育研究大会				
	22,23	合志・荒尾教会合同リトリート			4	1歳児ケース会議 心理士(洪田先生)保育士・園長6名
	26	県社協退職共済事務説明会			29	「運動会向けリズム講習」 保育士(井上) 参加者9名
29	荒尾市保育所職員研修					
9	4	県保協保育指針研修会	2	1歳児心理相談 心理士(洪田先生) 保護者・保育士・園長3名		
	5	キ保秋季保育者研修会				
	7	県児童虐待基礎研修				
	12	市保協保育士研修	30	1歳児心理相談 心理士(洪田先生) 保護者・保育士・園長4名		
	15	県社協社会福祉法人労務研修				
	29	マイナンバー制度についての法人園内研修				
29,30	県発達障がい基礎研修					
10	2	県発達障がい実践研修	30	聖書研究 サムエル記上 17:1~58 「少年ダビデとゴリアト」 参加者8名		
	5	慈愛園管理職等研修				
	20	有明地域療育センター研修				
	21	社会福祉法人会計研修				
	26	県保育指針研修会(食育編)				
	29	市保協救急法講習会				
11	4	県発達障がい実践研修	20	聖書研究 ルカによる福音書 1:26~38 " 2:1~7 " 2:8~20 マタイによる福音書 2:1~12 「アドベントの学び」 参加者10名		
	9	県保協事業主説明会				
	11	市保協給食視察研修				
	13	県発達障がい実践研修				
	14	遊びのアトリエ研修				
	17	県社協法人会計実務研修				
	20	県保育指針研修(自己評価編)				
	20	食育実践による健康な地域づくりの研修会				
	25	県保協保育所実習指導者研修				
	25	有明地域療育センター研修				
27	県社協苦情解決研修 県食育担当者研修					
12	5	キ保熊本地区職員クリスマス	21	5歳児心理相談 心理士(洪田先生) 保護者・保育士・園長4名		
	7	慈愛園管理職等研修				
	10	有明地域療育センター研修				
	14	退職手当共済制度実務研修				
	25	市特別支援連携協議会合同研修会				

1	15,16	キ保九州部会主任研修		
	19	有明地域療育センター研修		
	20	チャイルド社保育所運営セミナー		
	27	給食担当者研修会		
	30,31	全国人権「同和」研究集会		
2	5	熊本県保育研究大会	3	「ヨーロッパの保育について」 保育士(中山) 参加者8名
	10	県保協園長研修		
	11	九州教区教会学校教師研修会		
	12	上田事務所労務研修会		
		慈愛園愛献の集い		
	13	市保協保育士研修		
	15	県保協後期新任保育士研修	19	聖書研究 ルカによる福音書9:10~27 「イエスの死と復活」 参加者10名
	16	有明地域療育センター研修		
17	運営経理研修			
22	法人会計実務研修			
3	2	保育園におけるキャリアパス研修	3	「発達障がいについて」 保育士(田添) 参加者13名
	11	県保協女性部研修		
	17	県保協臨時総会及び研修会		
	23	慈愛園管理職等研修		

10. 施設整備他

園内の施設整備としては、

- ・土砂の流出や雨後の水溜りなど懸案事項であった中央段差について、ボルダリングピースを取り付けた楽しく遊べるブロックフェンス及び雨水の処理のための排水枘の設置をした。現在雨水の行方を観察しているところである。
 - ・東側の鉄製のフェンスは経年による腐食が激しく、その前の生垣も抜けているところがあつて危険だったので、まくら木階段とあわせた雰囲気木製フェンスに替えた。
 - ・玄関前の階段横の大きな樹木については、園舎の採光や蜂の被害等を考えて、根元から伐採した。部屋が明るくなり、風通しもよくなった。
 - ・園庭遊具のまくら木くるくるポールは、人気の遊具にもかかわらず対応人数が少ないので、動線をかえるため、クライミングまくら木のポールを10本追加した。
 - ・クラスの人数が多くなったため、既存のステージでは子どもが入りきれず、その奥にもう一段高い舞台を作成してもらった。

以上のような施設整備を行った。

1 1. その他

職員会開催状況

月	日	内 容
4	2 15 28	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念、保育理念、保育方針、今年度基本方針について事業計画をもとに園長が説明した。職務分担、組織表についても話し合う。 ・行事の計画と反省(入園式・ファミリーデーなど)、避難訓練・交通安全指導計画 ・新入園児の状況と保育経過確認、保護者会関係 ・カリキュラム検討
5	15 27	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(健康福祉まつり、花の日礼拝、保育参観など) ・福祉サービス第三者評価受審について
6	12 29	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(ころうクン来園、第三者評価保護者説明会など) ・プール遊びについて(安全・注意点の確認、交代時間など) ・子どもの様子について確認
7	17 27	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(七夕、サマーナイトチャレンジ、荒炎祭など) ・危機管理について(園舎の内外の安全点検、避難訓練のあり方) ・マニュアルの見直し、検討委員会について
8	11 21	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(おじいちゃんおばあちゃんの会、運動会など) ・気になる子どもたちの状況、療育機関へのつなぎについて ・荒尾市保育所避難訓練の日について(確認事項)
9	1 14 24	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(人形劇観劇、秋の感謝祭、運動会など) ・業務マニュアル検討委員会 ・マイナンバー制度について
10	7 16 28	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(運動会、ふれあい動物園、緑風園訪問、元気っ子祭りなど) ・保護者会との連携、 ・来年度入園申込受付、保育園見学、申請書の書き方について ・保育士の処遇改善補助金について、キャリアパスについて
11	12 26	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(元気っ子祭り、ボランティア活動の日、なかよし散歩、芋掘り 幼児祝福式、感謝祭、感謝訪問など) ・クリスマスについて(日程の確認、会場について、牧師先生の件)
12	4 11 24	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(クリスマス、餅つきなど) ・子どもたちの様子と就学児の対応(小学校との連携の進め方) ・メディアコントロールの取り組みについて ・第三者評価結果について
1	4 18 27	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(餅つき、豆まき、、積み木学習会など) ・アルバムについて(大きさ、内容、渡し方など) ・消防訓練について ・お別れバス遠足の目的地について

2	15 25	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(豆まき、保育参観、森の宝物作り、お楽しみパーティーなど) ・保育士等処遇改善一時金について ・小学校との連携、気になる子の繋ぎについて
3	18	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の計画と検討(ひな祭り、バス遠足、入園説明会、卒園式など) ・感染性の病気について(登園許可書の件) ・卒園式後の茶話会のあり方について

活動報告

月	日	行 事	月	日	行 事	
4	1	慈愛園 辞令交付式	10	3	若竹会子育てフォーラム	
	3	進級式		7	運動会総練習	
	4	入園式		10	運動会	
	9	中央小学校入学式		11	荒尾市スポーツレクリエーション大会	
	10	イースター礼拝 女性部新旧運営委員会		14	熊本県福祉サービス第三者評価訪問調査(～15日)	
	14	キ保熊本地区園長会		17	シティモール秋の感謝祭	
	18	荒尾市保育協議会総会・講演会		25	宗教改革記念礼拝	
	21	苦情解決第三者委員会		27	ふれあい動物園 老人ホーム緑風園交流会	
	22	三中校区園長校長会		11	2	ボランティア活動の日
25	ファミリーデー	5	シェイクアウト (熊本県民総参加型災害時初動対応訓練)			
5	1	こどもの日	7		シオン元気っ子祭り	
	7	5歳児心理相談	11		なかよし散歩	
	8	母の日	13		幼児祝福式	
	9	荒尾市保護者会連合会総会・懇親会	17		感謝祭	
	11	慈愛園外部監査	18		感謝訪問	
	16	ひかりの子保育園落成式	19		荒尾消防署感謝訪問	
	24	小学校運動会	28		青少年の健全育成に関する講演会	
	25	慈愛園評議員会 県保協総会・研修会	12	1	三中校区園長校長会	
27	荒尾市社協評議員会	8		熊本県保育所等指導監査		
6	7	荒尾市健康福祉まつり		11	シオン園クリスマス	
	9	歯科健診		15	4, 5歳児クリスマス	
	10	内科健診		19	全体クリスマス 荒尾教会クリスマス	
	12	花の日礼拝		26	早蕨幼稚園新園舎落成式	
	16	パウラス記念日		1	7	餅つき
	17	三中校区園長校長会 ころうクン来園 第三者評価保護者・職員説明会			8	来年度入所面接
20	シオン園余田先生納骨式	14			保幼小懇談会	
27	荒尾教会聖壇交換	19	中央小2年生と園児の交流会(～22日)			

7	4	バレエ教室デモンストレーション	2	21	木製遊具貸出事業園児への学習会
	6	リーダー会		22	慈愛園施設長会
	7	七夕祭り キ保熊本地区園長会		23	熊本ライトハウス多目的交流センター落成式
	9	監査説明会		27	消防訓練
	10	市教育機関連絡協議会研修・懇親会		2	市同教就学前部会実践報告会
	15	市保協園長会		4	苦情解決第三者委員会
	21	市保協臨時園長会 三中校区コーディネーター会議		7	荒尾市マラソン大会
	24	市社協評議員会		8	三中校区園長校長会
	25	三中校区保幼小中連携推進協議会 総会・研修会		13	慈愛園愛献の集い
	31	サマーナイトチャレンジ		16	県保協女性部運営委員会
8	4	特別支援巡回相談	3	18	市社協評議員会
	25	台風15号接近により休園		20	木育「森の宝物づくり」
	26	慈愛園内3保育園話し合い		23	お楽しみパーティー
	29	市主催講演会		3	ひなまつり
9	1	市保育所避難訓練の日	3	9	お別れバス遠足
	8	人形劇観劇 海陽中職場体験学習(～9日)		12	新入園児入園説明会及び個人面接
	16	キ保園長会		13	なかよしの森保育園落成式
	17	おじいちゃんおばあちゃんの会		26	第66回卒園式 荒尾教会イースター礼拝
	19	荒尾教会特別講演会		28	慈愛園評議員会
	28	慈愛園評議員会			
毎月	誕生会(原則として第3金曜日) 避難訓練(月1回～2回) 身体測定 職員会(原則として月2回) リーダー会、各委員会(随時) 市保協園長会(隔月)主任会(月1回)				